

1 本認定の主なポイント

①釘施工可能な耐火構造

強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)<sup>\*</sup>を釘施工とすることで、大幅な省施工化が望めます。

②内装なし仕様

内装材なしで耐火構造を実現しました。内装材が不要な非住宅物件に最適です。

③目地テープなし

強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)<sup>\*</sup>の目地部には、目地テープが不要な耐火構造です。

④合成柱・合成梁の認定も取得

合成柱・梁の認定を使用することで、より自由度の高い設計が可能です。

<sup>\*</sup>せっこうボードは強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)を必ず使用してください。

2 認定の概要

2-1 外壁1時間耐火構造 (断熱材なし)FP060NE-0265-2(1) 主要構成部材  
(断熱材あり)FP060NE-0265-2(2)

外装材：センターサイディング(NS型<sup>(※)</sup> 限定)

縦張り〔金属胴縁工法〕

通気胴縁：金属胴縁15

防水紙：透湿防水シート

屋外側被覆材：強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)

下張り 21mm以上 + 上張り 15mm以上

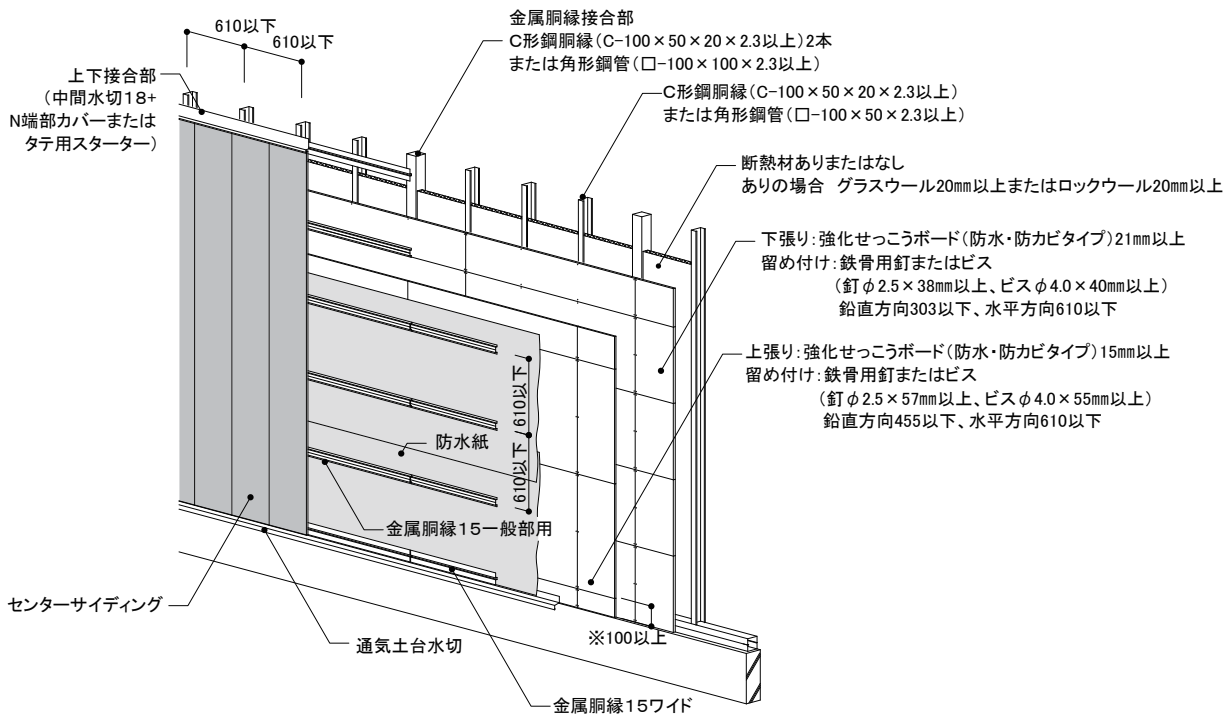
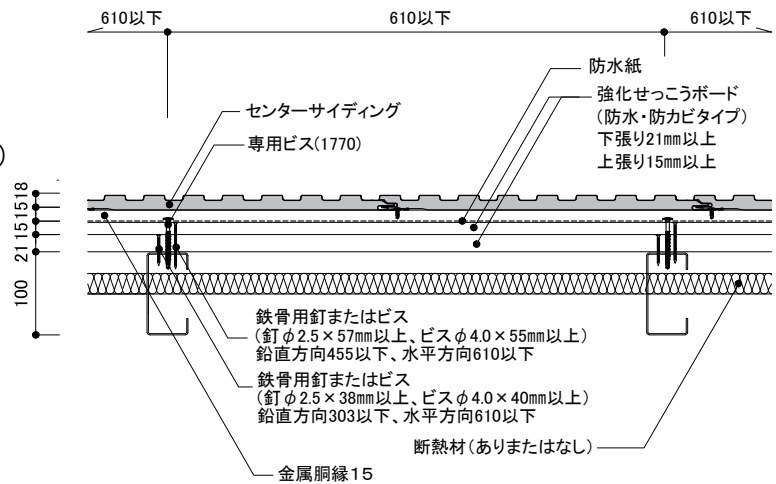
胴縁材：鉄骨胴縁(C形鋼または角形鋼管)

断熱材：ありまたはなし

グラスウール厚さ 20mm以上または

ロックウール厚さ 20mm以上

<sup>\*</sup>芯材：イソシアヌレートフォーム(HFO)



下地組図(屋外側)

<sup>\*</sup>下張りと上張りの強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)の目地はそろわないようにしてください。  
横目地は必ず100mm以上ずらしてください。

## 3 適用条件

本工法は金属サイディングを使用し、以下の条件を満たす建築物に制限します。

構造	鉄骨造(高さ30m以下)※	外装材	センターサイディング(NS型※)限定)
部位	外壁(非耐力)	外装材施工法	縦張り 金属胴縁工法

※建物にかかる風圧力に応じて、補強用ビス(P.150)を使用してください。耐風圧性能などの詳細については最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

※芯材：インシアヌレートフォーム(HFO)

## 4 耐風圧性能

金属胴縁を使用する本工法の耐風圧性能(負圧の破壊値)は、以下のとおりです。設計に際しては適切な安全率を見込んでください。(推奨安全率1.6以上)

型名	柄名	金属胴縁(@610)
NS型	ネオスパン 光	-1800
	ネオスパン プレミアム	

## 5 使用可能サイディングと下地基準

金属サイディングおよび施工法は、原則として下表とします。

躯体構法	胴縁(縦胴縁)	通気胴縁(横胴縁)	サイディングの張り方向	留付方法(施工)	使用可能なサイディング
鉄骨造(外壁非耐力)	軽量形鋼(C形鋼または角形鋼管)@610mm以下	金属胴縁15@610mm以下	縦張り	金属胴縁へビス留め施工	NS型 ネオスパン(光/プレミアム)

## 6 各部の規定・施工

### ■胴縁の施工

●材質・寸法 鉄骨胴縁を下地とします。鋼材は下表に示します。

規格	サイズ	方向	胴縁間隔
JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼	C-100×50×20×2.3mm以上	縦胴縁 (金属胴縁：横方向 サイディング：縦張り)	610mm以下
JIS G 3466 一般構造用角形鋼管	□-100×50×2.3mm以上		

### ■面材の施工

●屋外側被覆材の施工※

被覆材	規格	厚さ	留め付け
強化せっこうボード(防水・防カビタイプ) <small>被覆材は強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)を必ず使用してください。</small>	JIS A 6901	下張り：21mm以上 上張り：15mm以上	固定用材料：鉄骨用釘またはドリリングタッピンビス 下張り：釘φ2.5×38mm以上、ビスφ4.0×40mm以上(留付間隔：鉛直方向303mm以下、水平方向610mm以下) 上張り：釘φ2.5×57mm以上、ビスφ4.0×55mm以上(留付間隔：鉛直方向455mm以下、水平方向610mm以下)

鉄骨用釘は施工前に試し打ちを行い、空気圧等を調節することで釘頭がせっこうボードにめり込まないように注意してください。上張りのせっこうボードは下張りのせっこうボードの目地と重ならないように、ずらして張り付けます。せっこうボードを施工後2週間以内に防水紙を施工してください。

※下張りと上張りの強化せっこうボード(防水・防カビタイプ)の横目地は必ず100mm以上ずらしてください。

## 断熱材の施工

種類	規格	サイズ
なし	—	断熱材なし
グラスウール	JIS A 9504・JIS A 9521	20mm厚以上、10kg/m <sup>3</sup> 以上
ロックウール	JIS A 9504・JIS A 9521	20mm厚以上、10kg/m <sup>3</sup> 以上

胴縁間にグラスウールまたはロックウールを充填します。断熱材なしにすることもできます。

## 外壁材の施工

### ●設計・施工

防水紙の重ね代は上下90mm以上、左右150mm以上としてください。

使用できる外装材は、センターサイディングNS型のみです。その他のサイディングの施工はできません。

外装材の施工は、上張りの強化せっこうボード（防水・防カビタイプ）の上に、防水紙をたるみ、しわが無いように工業用ステーブルで留め付けてください。

金属胴縁15は610mm以下の間隔で配置し、専用ビス（JK1770）を使用して、610mm以下の間隔で鉄骨下地に留め付けてください。

サイディングを目地通りよく、不陸、目違いがないように専用ビスで留め付けてください。

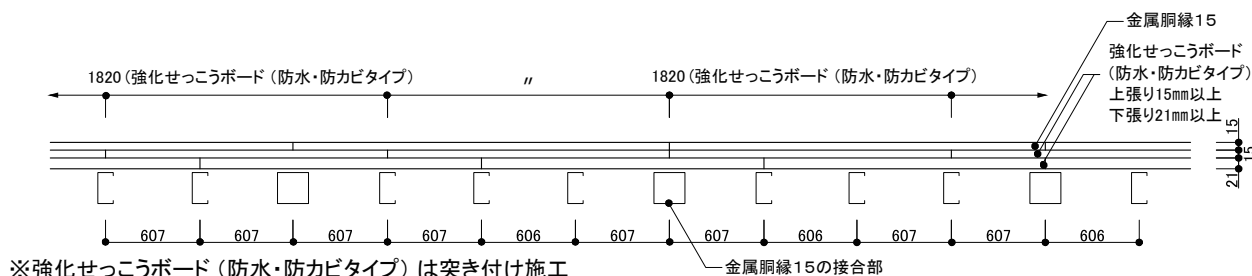
主な部材	品名	品番	サイズ・形状	用途
端部カバー	N端部カバー	AMKFF0**	—	土台部、開口上、上下接合部
見切縁	N見切縁18	AMKEF0**	—	開口下、開口左右、入隅
出隅鋼板受け	S出隅鋼板受け18	ADU1F00A	—	出隅
出隅カバー	S出隅カバー	ADS2*0**	—	出隅
中間水切	中間水切18	ATM6F0**	—	上下接合部
金属胴縁	金属胴縁15一般部用	KN2045	断面2次モーメント I <sub>x</sub> =0.4cm <sup>4</sup> 、I <sub>y</sub> =5.7cm <sup>4</sup>	通気胴縁（一般部）
	金属胴縁15ワイド	KN2070	断面2次モーメント I <sub>x</sub> =0.4cm <sup>4</sup> 、I <sub>y</sub> =8.7cm <sup>4</sup>	通気胴縁（土台部、上下接合部、開口部）
留付材	ステンスドリルネジ	JK1770	φ5×60mm	金属胴縁留付用
	ステンスカラードリルビス	JK1780**	φ4.5×25mm	本体凹部補強用（NS型 ネオスパン向け）
	ステンステクスネジ	JK1510	φ4.5×10mm	サイディング留付用
	ステンスドリルネジ	JK1740	φ4.5×27mm	サイディング表面 留付用
	平頭ねじ	KN65	φ4.8×13mm	付属部材留付用
スターター	タテ用スターター	AST5F0**	—	土台部、上下接合部

## 胴縁（C形鋼・角形鋼）の割り付け例

強化せっこうボード（防水・防カビタイプ）を切断せずに割り付ける場合の例です。

金属胴縁15（長さ2990mm）は胴縁（C形鋼・角形鋼）の割り付けに応じて切断して施工してください。

金属胴縁15を継ぐ際は胴縁をC形鋼ダブルまたは角形鋼としてください。



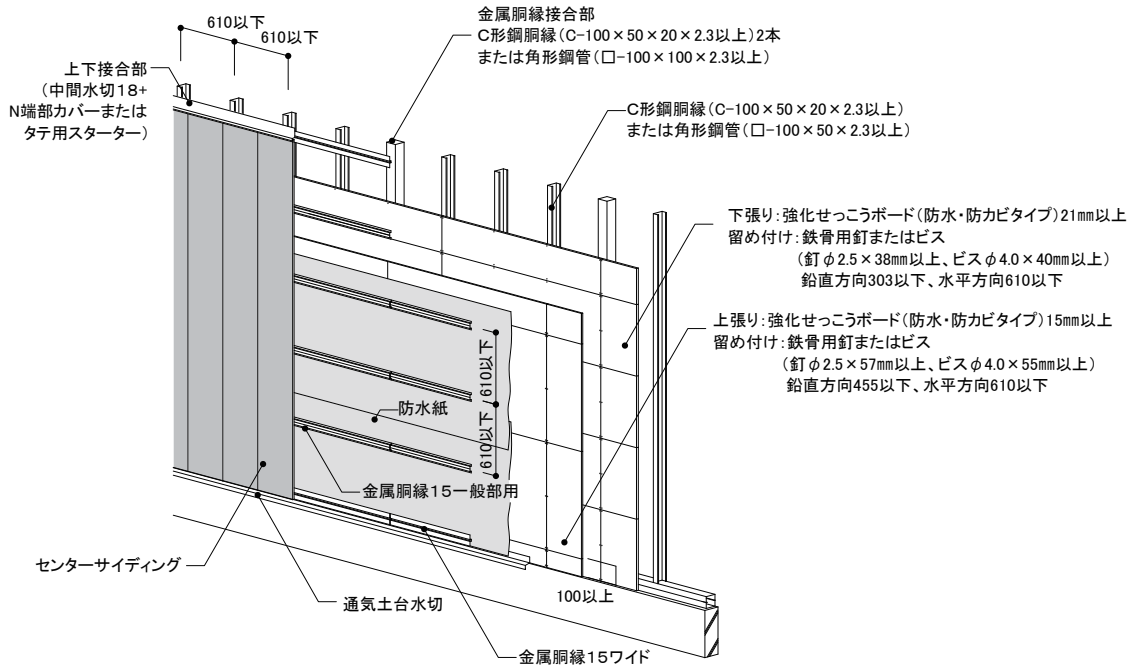
### 注意



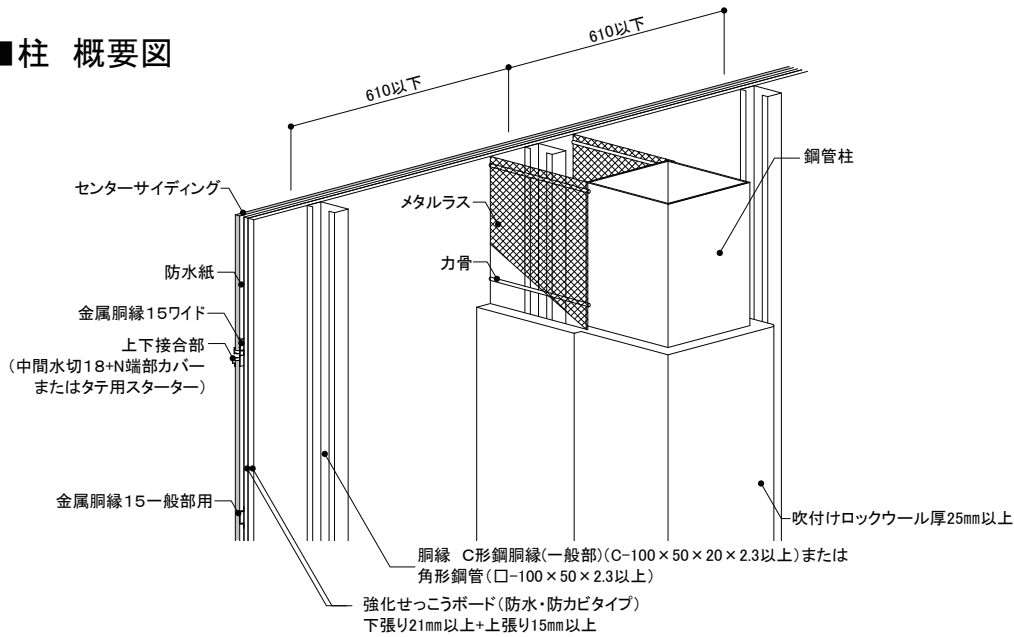
#### 施工上の注意事項

- 強化せっこうボードおよび金属胴縁15を施工する際は防水紙に墨出しなどを行い、胴縁（C形鋼など）に確実に釘・ビスを留め付けてください。

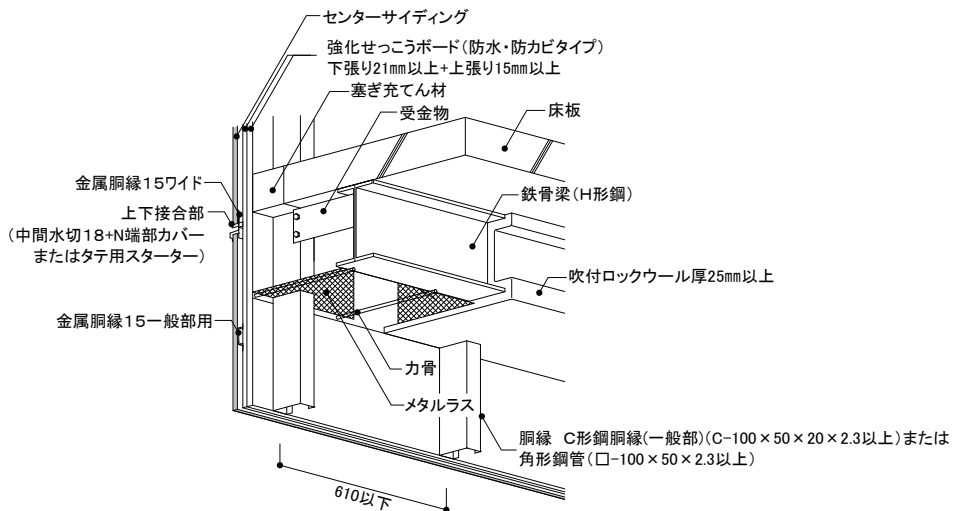
## ■外壁 概要図



## ■柱 概要図



## ■梁 概要図



図は中間水切ありで表現しています。